

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月17日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス  
 コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 中村 卓哉 TEL 078-351-3135  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月19日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月17日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績（2025年3月21日～2026年3月20日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,813	△6.9	170	34.8	200	48.3	142	251.1
2025年3月期	4,098	△7.7	126	—	135	691.4	40	—

(注) 包括利益 2026年3月期 135百万円 (200.9%) 2025年3月期 45百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	17.86	—	3.4	3.8	4.5
2025年3月期	5.08	—	1.0	2.6	3.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	5,148	4,218	81.9	527.29
2025年3月期	5,292	4,178	79.0	521.36

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,218百万円 2025年3月期 4,178百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	132	△119	△105	2,134
2025年3月期	307	△95	△104	2,224

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	96	236.2	2.3
2026年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	96	67.2	2.3
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		388.4	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年3月21日～2027年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,052	6.3	50	△70.2	52	△74.0	24	△82.7	3.09

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料14頁 3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	8,043,600株	2025年3月期	8,043,600株
2026年3月期	43,205株	2025年3月期	28,203株
2026年3月期	8,006,683株	2025年3月期	8,010,856株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年3月21日~2026年3月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	719	△3.8	73	32.8	65	—	55	—
2025年3月期	747	△8.4	55	△19.0	△76	—	△49	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	6.94	—
2025年3月期	△6.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年3月期	4,063		3,607		88.8		450.91	
2025年3月期	4,133		3,653		88.4		455.82	

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,607百万円 2025年3月期 3,653百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5頁「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2026年4月24日 (金) に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものです。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気下振れ懸念に加え、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響も、わが国の景気を下押しする要因となっており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を重視する時代へと変化しています。物価高の影響を受けても従来型メニューだけではなく付加価値のあるメニューの利用が増える傾向にあり、心豊かな生活を目指す方々にとって美容業界は重要な存在となっています。

このような中、当社グループは「再成長に向けた事業基盤の強化と変革」を掲げた、「新中期経営計画2025-2027 NEXT」を進めています。1年目となる2025年度は、「新規サロン獲得プロモーションの拡大」「店販活動の活性化施策」「レポート機会損失軽減・クロスセル向上」「情報一元化による効率化」等サロンの安定した経営サポートに向けた取り組みや、「付加価値を高める商品展開提案」「新たなユーザー層を開拓するための商品開発」を推進しました。

売上高につきましては、3,813百万円（前年同期比6.9%減）となりました。オンライン環境や営業管理プラットフォームなど営業活動の効率化を図る環境改善に加えて社員への浸透促進活動に取り組みましたが、減少する結果となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、取引サロンの実稼働軒数※は、14,609軒（前年同期比1,943軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高減等による粗利益減少をIT関連費、広告宣伝費、研究開発費、減価償却費等の販管費削減によりカバーし、営業利益170百万円（前年同期比34.8%増）、受取利息及び受取配当金などにより、経常利益200百万円（前年同期比48.3%増）となりました。投資有価証券の譲渡による特別利益21百万円、税金費用を78百万円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は142百万円（前年同期比251.1%増）となりました。

※当連結会計年度に取引があったサロンの軒数

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,523	37.2	1,353	35.5	△170	△11.2
ヘアケア	2,739	66.9	2,668	70.0	△71	△2.6
その他	185	4.5	84	2.2	△101	△54.7
売上割戻金	△350	△8.6	△292	△7.7	58	—
合計	4,098	100.0	3,813	100.0	△284	△6.9

(注) 1. 前連結会計年度については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高が、「その他」に含まれています。当連結会計年度については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）及び株式会社2C（連結子会社）の売上高が、「その他」に含まれています。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	3,948	96.4	3,654	95.8	△293	△7.4
海外売上高	149	3.6	158	4.2	9	6.2
合計	4,098	100.0	3,813	100.0	△284	△6.9

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、新規愛用者向けの特別企画により一部ブランドでは伸ばしたものの、既存商品の売上減を補うには至らず、前年同期比で減少しました。以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,353百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、2025年6月上市製品を中心とした販売支援の強化により、アウトパス・スタイリング剤「muts totte（ミューツトッテ）」などの売上は好調でしたが、既存商品の売上減を補うには至らず、前年同期比で減少しました。以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,668百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して143百万円減少の5,148百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して166百万円減少の3,366百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金90百万円の減少、売掛金60百万円の減少、棚卸資産2百万円の減少などによるものです。

固定資産合計は、前連結会計年度末と比較して22百万円増加の1,782百万円となりました。有形固定資産は、前連結会計年度末と比較して55百万円減少の1,291百万円となりました。主な要因は、減価償却累計額53百万円の増加などによるものです。無形固定資産は、前連結会計年度末と比較して19百万円増加の56百万円となりました。主な要因はソフトウェア13百万円の増加などによるものです。投資その他の資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円増加の433百万円となりました。主な要因は、投資有価証券84百万円の増加、繰延税金資産30百万円の減少などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比較して183百万円減少の929百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して160百万円減少の497百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等75百万円の減少、買掛金33百万円の減少、その他流動負債28百万円の減少、賞与引当金19百万円の減少、未払金3百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して22百万円減少の431百万円となりました。主な変動要因は、長期未払金17百万円の減少、リース債務7百万円の減少、退職給付に係る負債1百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して39百万円増加の4,218百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による96百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益による142百万円の増加などによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.0%から81.9%となりました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度末521.36円から527.29円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて90百万円減少し、2,134百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益221百万円、減価償却費89百万円、売上債権の減少額60百万円、仕入債務の減少額33百万円、法人税等の支払額136百万円の計上等により、132百万円の収入（前期は307百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出21百万円、無形固定資産の取得による支出21百万円、投資有価証券の取得による支出301百万円、投資有価証券の売却による収入230百万円の計上等により、119百万円の支出（前期は95百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額96百万円の計上、リース債務の返済8百万円により105百万円の支出（前期は104百万円の支出）となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率（％）	76.3	80.8	79.9	79.0	81.9
時価ベースの自己資本比率（％）	154.3	141.8	140.7	121.7	118.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.1	－	0.1	0.1	0.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

- （注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。  
 3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。  
 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。  
 5. 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率は営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。  
 6. インタレスト・カバレッジ・レシオは、利息の支払額に重要性がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、雇用・所得環境の改善や政策効果に支えられ、景気と個人消費は緩やかな回復が続くと期待される一方で、金融資本市場の変動や地政学リスクの影響による燃料費や水道光熱費の高騰がサロン経営に直面するなど先行き不透明な状況が続くと想定しています。

次期売上高につきましては、理美容専売事業においてヘアケア1ライン及びスキンケア2ラインを上市し、デジタル施策を中心に、カウンセリング力、購買体験の強化、顧客リピート育成を図りながら伸長に努めてまいります。

販売管理費につきましては、上記新商品のプロモーション費用、人件費、IT関連費等の費用が増加する計画となっております。

以上の結果、連結売上高4,052百万円(当期比6.3%増)、連結営業利益50百万円(当期比70.2%減)、連結経常利益52百万円(当期比74.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益24百万円(当期比82.7%減)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、今後の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績を勘案した安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の配当方針、および財務体質の状況等を総合的に勘案し、2026年3月期の1株当たりの配当金につきましては、12.00円(年間12.00円)とすることにしました。

2027年3月期の配当につきましては、1株当たり配当金を12.00円(期末配当)の予定としつつも、より一層の業績向上を図ることで株主の皆様へ還元できるように安定配当に努めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間比較可能性及び期間比較可能性等を勘案し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢及び国内の同業他社の適用動向等を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当連結会計年度 (2026年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,224,895	2,134,085
売掛金	363,185	303,058
商品及び製品	609,467	616,836
仕掛品	54,238	67,671
原材料及び貯蔵品	188,702	165,473
その他	94,784	81,473
貸倒引当金	△2,816	△2,419
流動資産合計	3,532,459	3,366,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,201,759	1,210,282
機械装置及び運搬具	67,518	67,518
工具、器具及び備品	358,033	345,903
土地	579,283	579,283
リース資産	41,310	41,310
その他	—	1,579
減価償却累計額	△900,757	△954,452
有形固定資産合計	1,347,147	1,291,425
無形固定資産		
ソフトウェア	33,294	46,979
その他	4,548	9,885
無形固定資産合計	37,842	56,864
投資その他の資産		
投資有価証券	201,882	286,024
長期貸付金	1,783	909
繰延税金資産	145,375	114,586
その他	31,263	42,372
貸倒引当金	△5,730	△10,014
投資その他の資産合計	374,574	433,879
固定資産合計	1,759,564	1,782,169
資産合計	5,292,024	5,148,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当連結会計年度 (2026年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	148,505	115,373
リース債務	8,781	7,886
未払金	181,418	178,118
未払法人税等	96,370	20,988
賞与引当金	95,320	75,981
その他	128,121	99,572
流動負債合計	658,518	497,919
固定負債		
リース債務	21,728	13,842
退職給付に係る負債	48,871	50,174
資産除去債務	27,635	28,848
長期未払金	356,345	339,000
固定負債合計	454,581	431,865
負債合計	1,113,099	929,785
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	752,200	752,200
利益剰余金	2,665,298	2,712,097
自己株式	△21,330	△21,332
株主資本合計	4,172,748	4,219,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	△4,633
為替換算調整勘定	5,217	3,651
その他の包括利益累計額合計	6,177	△982
純資産合計	4,178,925	4,218,563
負債純資産合計	5,292,024	5,148,348

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
売上高	4,098,140	3,813,665
売上原価	1,442,756	1,250,595
売上総利益	2,655,384	2,563,069
販売費及び一般管理費	2,528,784	2,392,354
営業利益	126,600	170,715
営業外収益		
受取利息	1,805	5,815
受取配当金	5,412	16,083
受取家賃	1,200	1,200
為替差益	—	5,213
保険解約返戻金	492	99
受取補償金	3,667	260
雑収入	2,879	1,528
営業外収益合計	15,458	30,201
営業外費用		
為替差損	6,534	—
雑損失	291	376
営業外費用合計	6,825	376
経常利益	135,233	200,539
特別利益		
投資有価証券売却益	12,686	21,194
その他	—	298
特別利益合計	12,686	21,493
特別損失		
固定資産除却損	3,653	351
特別損失合計	3,653	351
税金等調整前当期純利益	144,266	221,681
法人税、住民税及び事業税	125,587	38,688
過年度法人税等	33,995	6,669
法人税等調整額	△56,046	33,339
法人税等合計	103,537	78,697
当期純利益	40,729	142,983
親会社株主に帰属する当期純利益	40,729	142,983

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
当期純利益	40,729	142,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,935	△5,593
為替換算調整勘定	6,339	△1,565
その他の包括利益合計	4,404	△7,159
包括利益	45,133	135,824
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	45,133	135,824
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	776,580	750,475	2,720,576	△32,540	4,215,090
当期変動額					
剰余金の配当			△96,007		△96,007
親会社株主に帰属する当期純利益			40,729		40,729
自己株式の処分		1,724		11,210	12,935
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	1,724	△55,278	11,210	△42,342
当期末残高	776,580	752,200	2,665,298	△21,330	4,172,748

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,895	△1,122	1,773	4,216,864
当期変動額				
剰余金の配当				△96,007
親会社株主に帰属する当期純利益				40,729
自己株式の処分				12,935
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,935	6,339	4,404	4,404
当期変動額合計	△1,935	6,339	4,404	△37,938
当期末残高	959	5,217	6,177	4,178,925

当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	776,580	752,200	2,665,298	△21,330	4,172,748
当期変動額					
剰余金の配当			△96,184		△96,184
親会社株主に帰属する当期純利益			142,983		142,983
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	46,798	△1	46,797
当期末残高	776,580	752,200	2,712,097	△21,332	4,219,545

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	959	5,217	6,177	4,178,925
当期変動額				
剰余金の配当				△96,184
親会社株主に帰属する当期純利益				142,983
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△5,593	△1,565	△7,159	△7,159
当期変動額合計	△5,593	△1,565	△7,159	39,638
当期末残高	△4,633	3,651	△982	4,218,563

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	144,266	221,681
減価償却費	114,864	89,314
特許権償却	504	354
株式報酬費用	13,596	3,233
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△882	3,886
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,771	△19,338
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,453	1,302
受取利息及び受取配当金	△7,218	△21,899
為替差損益 (△は益)	6,534	△5,213
保険解約返戻金	△492	△99
固定資産除却損	3,653	351
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12,686	△21,194
売上債権の増減額 (△は増加)	42,511	60,127
棚卸資産の増減額 (△は増加)	143,304	2,428
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,840	△33,132
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△8,970
その他	△54,586	△24,860
小計	423,890	247,971
利息及び配当金の受取額	7,218	21,899
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△123,124	△136,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,985	132,933
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,073	△21,503
無形固定資産の取得による支出	△13,965	△21,509
投資有価証券の取得による支出	△201,749	△301,400
投資有価証券の売却による収入	115,054	230,308
保険積立金の解約による収入	449	99
その他	10,671	△5,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,612	△119,018
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8,490	△8,781
配当金の支払額	△96,060	△96,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,551	△105,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,686	646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106,135	△90,810
現金及び現金同等物の期首残高	2,118,760	2,224,895
現金及び現金同等物の期末残高	2,224,895	2,134,085

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しています。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)		当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)	
1株当たり純資産額	521.36円	1株当たり純資産額	527.29円
1株当たり当期純利益	5.08円	1株当たり当期純利益	17.86円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)	当連結会計年度 (自 2025年3月21日 至 2026年3月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	40,729	142,983
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	40,729	142,983
普通株式の期中平均株式数(株)	8,010,856	8,006,683

（重要な後発事象）

該当事項はありません。